

言葉や習慣の壁に悩む在住外国人に救いの手を差し伸べて十五年。悩み相談や生活支援、日本語指導を通じて培った経験や外国人視点を生かし、行政サービスの一歩の行き届かない隙間を埋める。今は東日本大震災や県北部地震の発生で不安を抱く在住外国人の心の支えにもなっている。

代表を務める岡元春美さんは「情報弱者である外国人は災害弱者でもある。慣れない地

ねこじゃらし茅野

先月、茅野市と協力して中国語、ポルトガル語、英語、スペイン語などを見聞きしており、外国人向けの生活情報誌を発行。毎週、日本語関と連携した活動は多数の行政機関に掛け合ったこともあった。また、行政が手を出さず、民間の力で外国人の生活を支える活動は多い。岡元さんは「外国人と日本人の垣根がなく、国籍を問わず対等の目線で語り合える社会が来ればいい」と夢を語る。

6カ国語防災ガイドなど作る

在住外国人の支えに

災害時の対処法から避難時のルールなどを分かりやすく伝え、外国人の不安をおおることのないう。

難ノウハウ、避難所でのルールなどを分かりやすく伝え、外国人の不安をおおることのないう。計十四人が活動の主体となり、諏訪地方を中心に活動の幅を広げている。

組織発足のきっかけは、買い物で戸惑う外国人の姿を見かけたこと。代表自身も米国に

外国人向け生活情報誌を支援するなど行政機関の女性が産んだ子どもを支援するなどの活動は多い。また、行政が手を出さず、民間の力で外国人の生活を支える活動は多い。岡元さんは「外国人と日本人の垣根がなく、国籍を問わず対等の目線で語り合える社会が来ればいい」と夢を語る。



ねこじゃらし茅野会員と日本語教室の生徒ら。左前が岡元春美代表＝茅野市で

ねこじゃらし茅野会員と日本語教室の生徒ら。左前が岡元春美代表＝茅野市で

団体名の「ねこじゃらし」に深い意味はないという。「猫が好きだから。耳にすれば興味わく名前でしょ」と岡元さんは笑う。同団体への問い合わせは事務局＝電0266(72)0502へ。

目指すのはより良い共生社会の実現だ。岡元さんは「外国人と日本人の垣根がなく、国籍を問わず対等の目線で語り合える社会が来ればいい」と夢を語る。

団体名の「ねこじゃらし」に深い意味はないという。「猫が好きだから。耳にすれば興味わく名前でしょ」と岡元さんは笑う。同団体への問い合わせは事務局＝電0266(72)0502へ。

(梅村武史)